

第5章 計画の推進に向けて

実効性ある計画推進

本計画を実行性のあるものとするために、本町の実態に即したPDCAサイクル⁴を確立するものとします。そのために、次のことを念頭に計画を構成しました。

(1) 総合計画と予算の連動

本計画は、本町の目指す姿を示すものであり、その方向性に向けて必要となる予算を確保していくこととなります。予算の確保にあたっては、単年度の予算の用途だけでなく、それにより目指すものを多くの住民に理解いただき、行政活動の説明責任を果たす必要があります。

このため、本計画の体系と予算を連動させることとします。また、本計画の体系の構成にあたっては、行政機構の業務分掌を意識し、推進担当が明らかなものとします。

これにより、行政評価を予算査定と連動して行うことができるため、重複する評価を効率化することができるだけでなく、予算の妥当性の評価が明確になり、業務の効率化につながります。

(2) 予算査定を基盤とする評価・検討

総合計画・予算を一連の体系とすることで、行政評価・予算査定を連動することができます。このことにより、緊急性や投資効果の高い事業を選択し、限られた財源を集中的に運用することができ、また国や道からの財源確保が必要な事業がより明らかになるため、健全な財政運営につながると考えられます。

効率的な評価・検討を行うために、予算査定を基盤としたPDCAサイクルを確立するものとします。

4 「PDCAサイクル」…事業等の継続改善手法。計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）の4段階を繰り返すことで、事業等を継続的に改善する。



広域連携の推進

人口減少傾向の中、行政サービスの需要量が減少しています。しかし、特に生活に必要なインフラについては、需要量が減少しても質を維持することが不可欠ですが、従来の規模や体制で継続した場合に住民一人が負担する行政コストが増大することが懸念されます。

その一方で、広域連携により質の向上が期待される施策・事業もあります。特に地域活性化にかかる施策・事業については、広域連携により取り組むことで、本町単体で取り組むよりも大きな効果が得られることが期待されます。

これらのことから、今後の動向を見据え、必要性の高い事業については広域連携による対応を検討します。



第6次上ノ国町総合計画

前期基本計画

みんなで創る 誇れるふるさと 上ノ国
～ みんなで育む まちの力 ～

2020-2029

発行年月 令和2年3月

発行 上ノ国町

〒049-0698 檜山郡上ノ国町字大留100番地

Tel 0139-55-2311 Fax 0139-55-2025

<http://www.town.kaminokuni.lg.jp/>

企画・編集 総務課地方創生推進室